

加古川市スポーツ推進計画関連事業一覧

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 子どもの体力向上とスポーツ活動の推進						
①	幼児を対象とした運動遊びの充実	なかよし運動会 おひさまクラブミニ運動会	子ども政策課	<p>【子育てプラザ】</p> <p>○なかよし運動会 R7.10.16 日岡山体育館で実施。参加者親子107組の計215名。</p> <p>○お楽しみ会(親子DEダンス) R7.12.1 東加古川子育てプラザで実施。参加者親子19組の計41名。</p> <p>【志方児童館】</p> <p>○親と子のすくすくクラブミニ運動会 R7.9.19 志方児童館で実施。参加者親子8組の計16名。</p> <p>○お楽しみ会(運動遊び) 志方児童館で以下の日程で実施。 R7.4.30、R7.6.5、R7.7.23、R7.8.19、R7.11.7、R8.1.20</p> <p>○お楽しみ会(運動会ごっこ) R7.9.24</p>	<p>【子育てプラザ】なかよし運動会、お楽しみ会(親子ダンス等) 親子で触れ合いながら運動を楽しむことを目的として、小学生未満の子どもと保護者を対象に実施する。</p> <p>【志方児童館】親と子のすくすくクラブミニ運動会、お楽しみ会(運動遊び、運動会ごっこ) 年齢に応じたプログラムとし、できるだけ楽しく参加できることを目的として実施する。</p>	<p>子育て世代がより楽しめる充実したイベント、プログラムになるよう、事業実施後のアンケートを行うなど、参加者のニーズ把握に努める。</p>
		加古川スポーツカーニバル(親子ふれあい体操)	スポーツ・文化課	<p>親子ふれあい体操ではなく、トレーニングジムのフィットネススタジオで、子育て世代を対象とした、スポーツ・健康に関するセミナー(「今日からできるストレッチ」と「ゆるっとボール体操」)を実施した。今日からできるストレッチは44名、ゆるっとボール体操は31名の参加があった。</p>	<p>11月3日(火・祝)にSHOWAグループ総合体育館にて開催予定。実施内容については、加古川市スポーツ推進委員会と検討予定。</p>	<p>今後もスポーツ・健康に関するセミナーを実施するの明確にし、内容も同じになってしまわないよう検討する必要がある。</p>
②	学校におけるスポーツ活動の充実	放課後子ども教室	社会教育課	<p>子どもたちの放課後が充実したものとなるよう、昨年度に引き続き、小学校(義務教育学校を含む。以下同様)において様々なスポーツ活動を実施した(計31クラブ、444人が参加)。</p> <p>小学校では、地域のボランティアの指導のもと、卓球やソフトボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施した。</p> <p>また一部の公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、休日等に卓球などのプログラムを実施した。</p>	<p>子どもたちの放課後が充実したものとなるよう、昨年度に引き続き、小学校(義務教育学校を含む。以下同様)において様々なスポーツ活動を実施予定。</p> <p>小学校では、地域のボランティアの指導のもと、卓球やソフトボールなどをはじめとして様々なスポーツ活動を実施予定。</p> <p>また一部の公民館でも、登録団体や高齢者大学の協力のもと、休日等に卓球などのプログラムを実施予定。</p>	<p>事業を継続的に実施していくにあたり、地域ボランティアの確保・育成が課題。また、新たなプログラムの導入を検討する必要がある。</p>
		中学校部活動支援事業	学校教育課	<p>加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数-33名</p> <p>外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。</p> <p>令和7年度配置校 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘みらい、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南)</p> <p>配置種目:野球、バスケットボール、剣道、ハンドボール、バレーボール、バドミントン、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、柔道、卓球、演劇、生花、国際交流、吹奏楽、文化</p>	<p>加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数-42名</p> <p>外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。</p> <p>令和8年度配置予定 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘みらい、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南)</p> <p>配置種目及び人数-未定</p>	<p>教職員の人事異動等により、部活動において、専門的な指導をすることができる教師が不足しており、中学校の部活動支援に対するニーズは年々高まっている。</p> <p>また、平成29年3月14日に学校教育法施行規則の一部が改正され、部活動指導員が顧問となることが可能となった。加えて、令和3年2月17日付け文科省通知「『学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について』を受けた公立学校の教師等の兼職兼業の取扱い等について」を受けて、今後の部活動の地域展開への対応も考慮し、外部技術指導者に係るニーズ把握と適切な配置に努めるとともに、今後の部活動地域展開に向けた指導者の確保を図ることに努める。</p>

1 スポーツ参画人口の拡大						
No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進						
①	ビジネスパーソンのスポーツ習慣づくり	スポーツライフセミナー	スポーツ・文化課	スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけ作りを提供することを目的に実施。 20代～50代を対象とする「エンジョイコース」については、スポーツ推進委員が指導を行い、全4回(卓球・バドミントン)で延99名の参加があった。 親子で参加ができる「小学校コース」については、NPO法人加古川総合スポーツクラブが指導を行い、鳩里小学校と氷丘小学校で、全2回(卓球バレー・モルック)で延52名の参加があった。	スポーツ実施率の低い20代～50代の方にスポーツを始めるきっかけを提供することを目的に実施予定。「エンジョイコース」を加古川市スポーツ推進委員会に、親子でも参加ができる「小学校コース」をNPO法人加古川総合スポーツクラブに協力を依頼し、実施予定。	参加者が減少傾向であるため、事業内容(頻度・開催日時・種目等)の見直しが必要。 参加者がNPO法人総合スポーツクラブに加入するなど、継続してスポーツに取り組むきっかけを創出できるよう、積極的に働きかける必要がある。
②	女性がスポーツに参画しやすい環境整備	アンケートの実施	スポーツ・文化課			スポーツの実施率が低い女性がスポーツに興味を持ち、短時間でも時間を割くことができる事業を検討する必要がある。
③	高齢者スポーツの推進	シニアクラブ活動	高齢者支援課	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブが(87クラブ3,892名)が主体となって引き続き実施予定。	いきいきクラブ体操、ラジオ体操、その他の高齢者の健康づくり・介護予防のために市が適当と認める体操等の実施・普及促進活動を市内の老人クラブが主体となって引き続き実施予定。	シニアクラブ数、シニアクラブへの加入者数とも減少している。
(3) スポーツに関心のない人へのはたらきかけ						
①	スポーツとの多様な関わり方の提案	オクトーバーランアンドウォーク	スポーツ・文化課	一般財団法人アールビーズスポーツ財団が主催する、10月の1ヶ月間での歩数、走行距離を自治体間で競うイベントに市として参加することで、場所を選ばず各々でスポーツを実施できる機会を市民へ提供し、767人が参加した。	広報かがわ等で周知するとともに、公民館や市民センター等の市内各施設、スポーツネットワーク委員会やスポーツ協会等の関係団体へ案内を送付し、広く市民の参加を促す。	なし
		スポーツ能力測定会	スポーツ・文化課	11月3日(月・祝)に小学校4～6年生を対象に、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施。138名の参加があった。	11月3日(火・祝)に、小学校4～6年生を対象として、ジャンプや10mスプリント、バットスイングなどの運動を専用の測定機器でモーションキャプチャの技術を利用し測ることで、自分の特徴や向いているスポーツなどがわかる測定会を実施予定。	能力測定会参加後、参加者がスポーツを始めていたのか追跡調査を行い、令和9年度以降の開催について検討する必要がある。
②	ライフスタイルに合わせたスポーツ情報の提供	かがわ・新コンセプトウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布した。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩き推奨した。	加古川観光協会公式ホームページリニューアルを契機として、掲載中のウォーキングコース情報を再編・整理します。	既存のモデルコースのより一層のPR及び新しいコースの検討
		出前健康講座	市民健康課	市内で活動する市民団体等を対象に健康運動指導士や保健師が健康講座を実施。「プラス10」や「ながら運動」など日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについて紹介。5団体122人に実施。	市民の健康づくりを目的に健康運動指導士や保健師が健康講座を実施予定。「プラス10」や「ながら運動」など日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについて紹介する。	申込団体が固定化しているため、周知方法の工夫が必要。

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(4) 競技スポーツの推進						
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	選手育成機会の提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が実施する小学生を対象としたスポーツ体験教室や、ジュニアスポーツ教室及び関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトや国体出場選手の大会記録を周知する広報誌等について、市内小・中学校や、スポーツクラブ等へ情報提供を行った。	県スポーツ協会が小学生を対象としたスポーツ体験教室等を実施するとともに、ジュニアスポーツ教室や関連スポーツ団体と連携し、継続的に選手を育成するゴールデンエイジプロジェクトについて、市に情報提供があれば、市内小学校やスポーツ協会、スポーツクラブへ周知を行う。	子どもたちが参加するイベント等において、申込につながるような周知に努める。
		選手育成コース	運動公園陸上競技場	①11月と2月に体育館、陸上競技場の両施設を利用し、スポーツフェスティバルを開催。両日共に2000名以上が来場し、体験会や、競技力の向上を目的とした内容で開催。11月には加古川を本拠地とするチェントクーハリマを迎えて、市内高校生とのゲームを通じて、体験だけでなく、競技力の向上を目的とした内容で開催でき、朝市や、キッチンカーを導入することで、地域住民の参加も見受けられ、賑わいの創造ができ、陸上競技場に新たな種目導入のきっかけになった。併催したモルックの大会も盛況で、より大きな大会を希望する声をたくさんいただいた。 ②11月23日には、女子短距離日本代表の福島千里さんを招聘し、短距離の教室を開催し、代表企業によるオリンピック招聘と、セイコー様の協力により、昨年開催された東京世界陸上の計測機械を使用したタイムアタックを行い、地域の競技者に貴重な体験の機会を提供。	陸上競技場の他競技への招聘を考慮し、チェントクーハリマを運営するムサシ様と協働し、陸上競技場の賑わいを創造するMDの提案を行なっていく。内容は、ふれあい、体験、競技力向上、つながりを目的とし、その中心にスポーツを置き、笑顔、ありがとうを集めるイベントを年2回開催いたします。	①「かこくら」の導入により、市内のスポーツ拠点の利用方法に変化が予想され、教室事業の根本的見直しが予想され、教室事業については、現状維持、もしくは空き時間への新しいプログラムの導入を検討する ②陸上以外の個の参加を促進する「個サル」や出会いランニング(走る仲間を集う教室)の開催、運営企業が適切な指導者を有することから、地勢を利用したトレイルラン教室の開催などの企画を行い、参加者に飽きのこないプログラムの提供を行う。
		バスケットボール教室	スポーツ・文化課	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童を対象に、プロバスケットボール選手の直接指導による教室を実施し、40名の参加があった。 日時:令和7年9月13日(土) 場所:SHOWAグループ総合体育館	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内小学生のミニバスケットボールチームに所属する児童を対象に、プロバスケットボールの直接指導による教室を実施する。 日時:令和8年9~10月予定 場所:SHOWAグループ総合体育館	なし。
		バレーボール教室	スポーツ・文化課	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、SVリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施し、162名の参加があった。 日時:令和7年8月2日(土) 場所:SHOWAグループ総合体育館	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バレーボール部に所属する女子中学生および指導者を対象に、SVリーグ選手・スタッフの直接指導による教室を実施する。 日時:令和8年7~8月予定 場所:SHOWAグループ総合体育館	なし。
		ニシカワ食品株式会社 パニーちゃんカップ 加古川俊足王決定戦	ウェルネス協会	走ることは全てのスポーツの基本となることから、スポーツをする子どもたちが増えることを目標に加古川俊足王決定戦(50m走)を開催。令和7年5月4日(日)開催。参加申込者はコロナ禍以降最高の611名(当日は23名が欠席)となった。	走ることは全てのスポーツの基本となることから、スポーツをする子どもたちが増えることを目標に加古川俊足王決定戦(50m走)を開催。令和8年5月2日(土)開催予定。	参加人数が多いイベントのため、駐車場スペースの確保が心配される。参加人数が700名を超えるようになれば、人数制限も必要となる。
		ニシカワ食品株式会社 パニーちゃんカップ 加古川韋駄天決定戦	ウェルネス協会	スポーツをすることと体力増進を目的に、令和7年11月29日(土)に開催。第1回大会は、小学生のみの大会であったが、第2回大会より、中学生~一般部門を追加して開催した。参加者は、第1回大会176名。第2回大会は427名(申込者は483名)。第3回大会は、488名(申込者は546名)であった。	スポーツをすることと体力増進を目的に加古川韋駄天決定戦を開催。令和8年11月21日(土)開催予定。	過去の3回大会は、同学年は男女同時スタートの部門もあったが、学年により参加人数が大きく変わるので、男女別で開催することも検討したい。

1 スポーツ参画人口の拡大

No.	具体的施策	主な関連事業	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
①	競技スポーツ選手のスポーツ環境整備	ウエルネス陸上競技教室	ウエルネス協会	11月29日(土)に2025東京世界選手権に陸上競技男子やり投で出場したディーン元気選手をはじめ、4名のトップアスリートに講師を依頼。『投げる』に特化した陸上競技教室を開催した。小学生部門30名。中高校生部門82名の参加であった。	開催日未定。講師には現役選手に依頼予定のため、競技の落ち着く11月以降で開催を計画。	2026年は世界大会の開催はありませんが、開催は競技の落ち着く秋以降にしたい。現役選手の中で、学生選手に刺激をあたえていただける方に講師を依頼したい。
		ウエルネス陸上アスリート育成教室	ウエルネス協会	-	加古川市にゆかりのある指導実績のある指導者やアスリートの協力を得て、中高生を対象とした専門的な陸上競技教室を開催予定。	加古川市の地域展開『かこくら』の活動ではない『陸上競技教室』になるため、区別した取り組みにしたい。
		バドミントン教室	スポーツ・文化課	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施し、102名の参加があった。 日時:令和8年1月17日(土) 場所:SHOWAグループ総合体育館	SHOWAグループ総合体育館の指定管理事業として、競技スポーツの底辺拡大と競技力向上を目的に、市内バドミントン部に所属する中学生および指導者を対象に、S/Jリーグや兵庫県No.1のチームで活躍する選手の直接指導による教室を実施する。 日時:令和9年1月予定 場所:SHOWAグループ総合体育館	なし。
		会長杯 全国カヌー/ローイングエルゴ選手権大会	漕艇センター	カヌーの全国大会やボートの県民大会など加古川水域での競技者以外も加古川に誘致し、切磋琢磨できるように取り組んだ。また、それらをホームページやSNS掲載、近隣地域の協会等と連携して参加者増加を目指す。	ローイングに関しては、利用者(選手や一般競技者)の声をもとに、加古川ローイング協会との連携を深め、近隣選手たちが公式大会に向けてのステップとなるようなローカル大会を積み重ねていく。 また、カヌーに関しては、全国からトップ選手が集まる機会として加古川での大会参加者をより増大していきたい。	参加者獲得の為、広報や漕艇センターのホームページ等で発信している。また、チラシを作成し、市内の小学校及び公共施設に配布している。ボート体験教室の参加が伸び悩んでおり新たな宣伝方法や事業内容を検討したい。
		加古川市民さわやか賞	総務課	文化、スポーツ等の分野でめざましい活躍をし、市民に希望と活力を与えている個人及び団体を表彰した。 ※R4:24件、R5:55件、R6:44件、R7:25件(スポーツ分野のみ)	関係者からの推薦等により、全国的規模の大会等で優秀な成績を収めた個人又は団体を把握し、表彰する。 表彰式は9月、12月、3月を予定。	競技人口の少ないスポーツ等で現在の基準には満たないが、その分野においてめざましい活躍をした個人及び団体に対し、表彰の対象とするため、現在の基準について検討が必要。
②	競技スポーツ指導者の育成・確保	障がい者スポーツ指導者の育成	スポーツ・文化課	令和7年度参加者なし。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用の場を検討する必要がある。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 障がい者スポーツの振興						
①	障がい者スポーツの組織基盤の整備	障がい者スポーツ指導員講習会への参加促進	スポーツ・文化課	令和7年度参加者なし。	障がい者スポーツに関する指導者の増加を目指し、スポーツ推進委員やスポーツサポーターボランティアに対して講習会への参加を促す予定。	指導者の活用場を検討する必要がある。
②	スポーツ施設における障がい者等の利用促進	総合体育館改修事業	スポーツ・文化課			障がい者スポーツ活動の拠点となるよう活用について検討していく。
③	障がい者スポーツの実施機会の増加	ふれあいスポーツ教室	障がい者支援課	障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供することを目的に、ふれあいスポーツ教室を3回実施した。 6月にスポーツ・文化課と共同開催する『かこパラスポーツ王国』、10月にボッチャ、11月にサウンドテーブルテニスを行った。サウンドテーブルテニスを除き、スポーツ推進委員に参加いただいた。	昨年と同様に全3回で実施予定。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、障害の有無にかかわらず、より多くの人に参加できるよう、実施方法及び募集方法を検討する必要がある。
		加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(月・祝)にSHOWAグループ総合体育館にて開催し、約2,500名の参加があった。 「あなたの体力CHECK!!～スポーツを通して心身ともに健康な日々を～」をテーマとして、子どもを対象とした運動教室や歩行測定、様々なスポーツの体験コーナーを設けて、市民がスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3(火・祝)にSHOWAグループ総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		かこパラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	6月28日(土)にSHOWAグループ総合体育館にて開催し、268名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供。 体験種目:車いすバスケットボール、ボッチャ、スクエアボッチャ、モルック、ふうせんバレーボール、アジャタ、卓球バレー・SSピンポン・STT、フライングディスク	6月27日(土)にSHOWAグループ総合体育館にて開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容と実施種目を検討する必要がある。
		加古川市ボッチャ交流大会	スポーツ・文化課	9月27日(土)に117いいなスポーツアリーナにて開催し、32チームの参加があった。また、今年度も体験コーナーを設置し、大会に参加されない方にもボッチャの普及促進に務めた。また、決勝トーナメント初戦敗退チーム交流戦を行い、長く楽しめる時間を提供した。	9月26日(土)に117いいなスポーツアリーナにて開催予定。 かこパラスポーツ王国や加古川市パラスポーツチャレンジ(障がい者スポーツ)出前講座を通して普及しているボッチャで、交流大会を開催することにより、スポーツ交流を促進し、パラスポーツへのさらなる理解と普及を図る。	体験コーナーに参加される方へのボッチャに対する魅力発信の方法を検討していく必要がある。
④	ノーマライゼーションの推進	加古川ツーデーマーチ	スポーツ・文化課	バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施した。	バリアフリーなイベントを目指し、居住地や等級等を問わない実行委員会独自の割引制度を実施予定。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	マラソンコース周辺の各種工事により中止となった加古川マラソン大会の代替イベントとして、加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月14日(日)にSHOWAグループ陸上競技場で「加古川リレーマラソン」を開催。全体で94チーム649人が参加。	マラソンコース周辺の各種工事によりフルマラソンでの大会開催ができなくなるため、12月にSHOWAグループ陸上競技場で代替イベント「加古川リレーマラソン」を開催予定。	

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(2) 健康・体力づくり事業の推進						
①	健康・スポーツに関する情報発信	LINE de 健康応援!(R4~R7) かこがわウェルネスチャレンジ(R8~) ※令和8年度より事業名変更	市民健康課	LINEアプリを活用し、市民の自主的な健康づくりの取組を支援する事業。5月から翌年3月までの取組期間中、定期的に健康情報を配信し、運動教室やクイズ大会を実施した。また、毎月の取組報告や100日間取組報告アンケートを実施し、回答者の中から抽選で賞品(インセンティブ)を進呈した。574名が参加。	事業名を「かこがわウェルネスチャレンジ」へ変更して実施予定。 LINEアプリを活用し、市民の自主的な健康づくりの取組を支援する事業。申込期間は5月から翌年3月までの取組期間中、定期的に健康情報を配信する。その他、取組報告やアンケートへの回答、対象講座への参加でポイントを付与し、ポイント数に応じて賞品(インセンティブ)を進呈する。	参加者数が減少しており、増加に向けて、周知方法を検討する。 インセンティブの進呈が窓口での交換のみとなっているため、今後オンライン化に向けた検討が必要。
		健康づくり講座	市民健康課	生活習慣病予防を目的とした健康講座を5回実施した。 5回のうち1回は、健康運動指導士を講師として、日常生活の中で実践できる「冷え予防」をテーマで実施し、51名が参加。	生活習慣病予防を目的とした健康講座を実施予定。回数を6回へ増加、うち2回は健康運動指導士を講師として日常生活の中で実践できる運動をテーマに実施予定。	65歳未満の参加者数が少なく、参加者が固定化しているため、各世代の人が参加しやすい環境整備と、魅力的な講座内容の検討が必要。 かこがわオンライン申請から申込受付を実施しているが、オンラインでの申請が少なく、電話での申込中心となっている。
		特定保健指導	国民健康保険課	特定保健指導対象者へ運動習慣の必要性を説明するとともに、健康運動士による運動教室を定期的に開催した。 (開催数:10回/年 参加者数:66名) 特定保健指導案内ちらしに、市公式YouTubeで配信している運動実技の講演動画のQRコードを記載し配布した。	特定保健指導対象者に生活習慣病予防のため、運動習慣の必要性を説明するとともに、運動指導士による運動教室を開催し、運動の場を提供する。	運動教室の1回あたりの参加者が平均6.6名と定員15名より大幅に少ないことが課題である。周知方法を見直し、参加者を増やす必要がある。 誰もが取組みやすくするため、座ってできる運動を取り入れるなど参加者の希望に沿った教室内容で実施できるよう検討していく。
		いきいき健康サークル	市民健康課	なし	なし	令和6年度で、団体が解散したため、令和7年度以降の実施はなし。
②	散歩・ウォーキング・健康体操の推進	<再掲> かこがわ・新概念ウォーキングコース	スポーツ・文化課	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布。	市内12箇所の公民館をスタート及びゴール地点とし、目的別にめぐるウォーキングコースのガイドブック及びマップを各公民館及びスポーツ・文化課にて配布予定。	ウォーキングコースについて予算化されていないため、紙ベースでの在庫がなくなりつつある(市ホームページからも印刷可能)。
		<再掲> ウォーキングコースの奨励	観光協会	ホームページやSNSを活用した観光モデルコースの紹介等によるまち歩きの推奨した。	加古川観光協会公式ホームページリニューアルを契機として、掲載中のウォーキングコース情報を再編・整理します。	既存のモデルコースのより一層のPR及び新しいコースの検討
		<再掲> 運動普及推進(いきいき健康サークル)活動	市民健康課	なし	なし	なし
		<再掲> 出前健康講座	市民健康課	市内で活動する市民団体等を対象に健康運動指導士や保健師が健康講座を実施。「プラス10」や「ながら運動」など日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについて紹介。5団体122人に実施。	市民の健康づくりを目的に健康運動指導士や保健師が健康講座を実施予定。「プラス10」や「ながら運動」など日常生活の中で行うことができる体操やウォーキングなどについて紹介する。	申込団体が固定化しているため、周知方法の工夫が必要。
		ラジオ体操の推進	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員を派遣し、スポーツライフセミナー等の講習会でラジオ体操の指導を行った。	スポーツライフセミナーや高齢者大学等の講習会においてスポーツ推進委員がラジオ体操の指導を行う予定。	なし。
		いきいき百歳体操活動支援	高齢者支援課	・「いきいき百歳体操」の継続支援及び新規立上げ支援を行う。 ・「いきいき百歳体操」にて、介護予防・健康づくりの普及啓発を行う。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内1箇所で実施した。	・「いきいき百歳体操」の継続支援及び新規立上げ支援を行う。 ・「いきいき百歳体操」にて、介護予防・健康づくりの普及啓発を行う。 ・「いきいき百歳体操応援隊講座」を市内2箇所で実施予定。	「いきいき百歳体操応援隊講座」講座修了者がより活躍できる場や方法を検討していく。 実施会場の分布が少ない地域を見直し、重点的に実施会場となる施設等を開拓するなど、新たな場所の確保が必要である。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
③	スポーツ推進委員会の活用	スポーツ推進委員派遣事業	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員を派遣し、スポーツライフセミナー等の講習会でラジオ体操の指導を行った。	スポーツライフセミナーや高齢者大学等の講習会においてスポーツ推進委員がラジオ体操の指導を行う予定。	なし。
		スポーツ推進委員研修会	スポーツ・文化課	イベントの開催に向けた研修を6回開催し、指導力及び資質向上を図った。	毎月1回程度、研修会を開催し、スポーツ推進委員としての指導力及び資質向上を図る。	なし。
(3)スポーツを通じた地域活性化						
①	地域におけるスポーツ環境・スポーツ情報の充実	公民館活動	社会教育課	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行った。	昨年に引き続き、市内の公民館で複数のスポーツグループがスポーツ活動を行う予定。	なし。
		少年団活動	社会教育課	加古川市指導者協議会に委託して、サバイバルキャンプやアワイチ等を実施した。 小学校区少年団(市内12団)等が、青少年の健全育成を目的に球技大会等地域のさまざまな活動を実施した。 正副団長(中学生)企画により、みらい学園において逃走中を実施した。	小学校区少年団(市内11団)等が青少年の健全育成を目的に球技大会等地域のさまざまな活動を実施予定。	少年団員数は、令和元年度の7,742人に比較し、令和7年度には3,450人と減少している。また、コロナ禍以降、地域のソフトボール、バレーボールチームの活動は縮小傾向である。
②	スポーツイベントの開催	<再掲> 加古川スポーツカーニバル	スポーツ・文化課	11月3日(月・祝)にSHOWAグループ総合体育館にて開催し、約2,500名の参加があった。 「あなたの体力CHECK!!～スポーツを通して心身ともに健康な日々を～」をテーマとして、親子を対象とした体操や様々なスポーツの体験コーナーを設けて、市民がスポーツに親しめる機会を提供した。	11月3(火・祝)にSHOWAグループ総合体育館にて開催予定。 実施内容については、主催団体の加古川市スポーツネットワーク委員会にて検討。	今後より充実した内容になるよう、スタッフや参加者にアンケートを行い、プログラム内容の改善を検討する必要がある。
		<再掲> かこパラスポーツ王国 (パラリンピック機運醸成イベント)	スポーツ・文化課	6月28日(土)にSHOWAグループ総合体育館にて開催し、268名の参加があった。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供。 体験種目:車いすバスケットボール、ポッチャ、スクエアポッチャ、モルック、ふうせんバレーボール、アジャタ、卓球バレー・SSピンポン・STT、フライングディスク	6月27日(土)にSHOWAグループ総合体育館に開催予定。障がい者スポーツへの理解と普及を図るため、障がいのある人もない人もスポーツを体験し、共に楽しめる機会を提供する。	障がい者スポーツの理解と普及を図る事業として、事業内容と実施種目を検討する必要がある。
		加古川カップ綱引大会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、スポーツを通して気軽に健康・体力づくりや仲間づくりをすることを目的に、2月22日(日)にSHOWAグループ総合体育館にて開催。 「企業対抗の部」、「男子の部」、「女子の部」、「男女混合の部」、「小学生の部」、「チャレンジの部」の6部門で開催し、39チーム、約410名が参加した。(※「市内小学校対抗戦」は募集していない。) なお、広報手段として、校長会における参加促進の依頼、募集要項等の小学校や公共施設への配布、広報かこがわや市SNSを活用した記事掲載、等を行った。また、加古川商工会議所に依頼し、商工かこがわと併せて、市内企業へ募集要項を配布する等、積極的にPRを実施した。	2月28日(日)にSHOWAグループ総合体育館にて第39回大会を開催予定。 募集開始時期を年内とする等、早期にPRを行う予定。 部門については、主催団体の市スポーツ協会にて検討する。	これまで「市内小学校対抗戦」は、大変な盛り上がりを見せており、学校からも小学生最後の思い出作りとして好評であったが、教職員の働き方改革のため休日に児童を引率して大会に出場することが難しい状況に変化している。今後のあり方について検討する必要がある。
		健康・体力づくり事業	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体力づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会・教室を実施。令和7年度については、15事業を実施した。	加古川市スポーツ協会が主催し、市民の健康・体力づくりを目的に、初心者の方が参加できる大会・教室を実施予定。	協会に加入していない一般市民の参加のさらなる増加に向け、事業実施の検討を行う。

2 スポーツを通じた共生社会の実現

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
②	スポーツイベントの開催	加古川市民レガッタ	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	令和7年9月14日(日)に開催。63クルー、395人の参加があった。	令和8年9月13日(日)に開催予定。	なし。
		加古川レガッタ(関西学生秋季選手権)	スポーツ・文化課 (漕艇センター)	令和7年11月22日(土)・23日(日・祝)・24日(月・振休)に開催。133クルー、440人の参加があった。	令和7年11月6日(金)・7日(土)・8日(日)に開催予定。	大学生の宿泊場所として近隣町内会の所有施設を使用しているため、近隣町内会に負担がかかっている。
		カヌーイベント	スポーツ・文化課	-	-	-
		加古川ツデーマーチ	スポーツ・文化課	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月9日(土)・10日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催した。設定コースは両日とも3コース(20・10・5km)。 参加者数 11月8日(土):2,378人 11月9日(日):936人 合計:3,314人	心と体の健康を目的に加古川ツデーマーチ実行委員会が主催し、11月14日(土)・15日(日)の2日間にわたって歩くウォーキングイベントとして開催予定。設定コースは両日とも3コース(20・10・5km)。	参加者数の減少及びボランティアスタッフの確保が困難になりつつあることから、今後の事業の方向性について検討していく必要がある。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	マラソンコース周辺の各種工事により中止となった加古川マラソン大会の代替イベントとして、加古川マラソン大会実行委員会が主催し、12月14日(日)にSHOWAグループ陸上競技場で「加古川リレーマラソン」を開催。全体で94チーム649人が参加。	マラソンコース周辺の各種工事によりフルマラソンでの大会開催ができなくなるため、12月にSHOWAグループ陸上競技場で代替イベント「加古川リレーマラソン」を開催予定。	大会再開時の参加者・スタッフの確保のため、大会中止期間も代替イベントの開催や活発な情報発信をしていく必要がある。
③	地域でのスポーツイベントの開催	世代間交流学習会	社会教育課	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施した。	地域の教育力向上及び絆を深め、ともに支えあう社会づくりを目的とし、各地域が主体となって実施する。	規模の小さい町内会や、高齢化が進む町内会では、世代間交流学習会の実施が困難な地域がある。
④	ホストタウンを契機としたスポーツ交流の促進	加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課	かこパラスポーツ王国及び加古川市ポッチャ交流大会にて延10名がイベントサポート業務を行った。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	加古川市スポーツサポーターの活動を促進するとともに、スポーツサポーターの活動内容と活用方法等を検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(1) 身近に利用できる「場所」の確保						
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	総合体育館	<p>①キッズダンス: 学年が上がる毎に継続利用が減傾向にあったが、講師との協議を重ね、参加年齢、開催内容を変更することにより、継続参加の向上が見られ、参加児童の保護者の参加も増加した。</p> <p>②ヨガ関連: 骨盤ヨガや、目的を明確にしたプログラムの変更で、受講者も増加。</p> <p>③館内に装飾MDを追加したことにより、従業員と利用者のコミュニケーションが増加し、会話の機会が圧倒的に増加。</p>	<p>①5月度より、SNSの活用を行う。フェイスブック、公式ライン、インスタグラムの活動を予定しており、紙ベースの告知は継続しながらSNSの発信により、より早い情報の提供を行い、運営活動の共有を行う。</p> <p>②装飾MDにおいて、利用者の参加を求め、地域住民や利用者が自分隊の体育館としての認識アップや、装飾に参加することにより、運営参加意識の向上に努める。</p> <p>③スポーツ施設部分(メインアリーナ、サブアリーナ、研修室)以外の利用率を上げるためにスポーツ時のネイルケアや、健康的な食事の栄養学等の文化講座を開設し、利用促進を行う。</p>	<p>SNSを始めるにあたり、マナーやトーンの統一、運営ルールを徹底し、掲載内容のトラブル軽減に努める。</p> <p>写真や動画の掲載、掲載文言等の管理ルールの作成、利用者の意見の収集等を考慮する。</p> <p>文化講座の開設にあたりスポーツと文化の交流イベント等のかきかう、開催を考慮する。</p>
			運動公園陸上競技場	<p>①陸上教室 普及コースでは、基礎体力の向上および運動能力の底上げを目的に実施した。基本種目を中心に、フォーム改善や動きづくりを重視した指導を行うとともに時期に応じて長距離走や駅伝練習を取り入れ、持久力の強化にも取り組んだ。年間を通じて体力と技術の両面を意識した指導を行った。</p> <p>選手育成コースでは、「短距離・跳躍」「中・長距離」の専門的な技術指導とトレーニングを行いながら、大会出場および自己記録更新を目標に競技力向上を図った。</p> <p>②投てきコース 砲丸投げ・円盤投げを中心に、投てきフォームの習得を重視した指導を行った。段階的なトレーニングを通じて技術向上を図り、大会出場を見据えた実践的な練習に取り組んだ。</p> <p>③リフレッシュウォーキング教室 ウォーキングを中心に筋力トレーニングやストレッチを組み合わせ、全身持久力の向上と運動習慣の定着を図った。参加者の体力レベルに応じた運動強度で実施し、安全面に配慮した教室運営に努めた。</p>	<p>①陸上教室 普及コースでは、基礎づくりに加え、楽しみながら身体を動かす機会の充実に努める。短距離走や跳躍種目の基礎練習に加え、リレー形式の練習やゲーム性を取り入れたトレーニングを実施し、運動に対する興味・関心の向上を目指す。また基本動作の習得を重視し、将来の競技力向上につながる指導を行う。</p> <p>選手育成コースでは、専門種目に応じた練習内容を充実させるとともに、記録会等へ参加し、実践経験を重ねながら競技力向上を目指す。</p> <p>②投てきコース 基礎体力の向上を目的とした補強運動を実施し、安全面に配慮しながら投てき競技の普及と競技力向上を図る。</p> <p>③リフレッシュウォーキング教室 健康づくりを目的としたウォーキング教室を実施する。ウォーキングに加え、姿勢改善やストレッチ指導を取り入れ、日常生活に活かせる運動を提供する。初心者でも参加しやすい教室運営を行い、継続的な参加につなげる。</p>	<p>①地域に定着した教室として継続的に多くの小学生が参加しており、今後も参加者の満足度向上を図りながら、さらなる参加者の増加を目指す。</p> <p>②参加者が進学後も競技を継続し、大会等での活躍が見られるなど、育成の成果が現れている。引き続き、段階的なトレーニングの実施により、競技力向上につながる指導体制の充実に努められる。</p> <p>③新規参加者の増加に加え、継続的な参加も定着しつつある。健康づくりの場としての役割を維持しながら無理なく参加できる教室運営を行う必要がある。</p>
			日岡山体育館	<p>①競技団体と協働でバレーボール大会や卓球大会などイベント事業を行いました。</p> <p>②SNSを効果的に使用し縁結び！スポーツ交流会や脳を鍛える！おやこ体操の集客を図った。</p>	<p>①競技団体と協働で大会やイベント事業を行う。</p> <p>②SNSを効果的に活用しスポーツ大会やイベントの集客を図る。</p>	<p>競技場内に入り込むスズメの対策が必要</p>
			武道館	<p>①武道以外の利用促進として、道場をヨガや健康体操等などに使用した。</p> <p>②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーイベントを開催した。</p>	<p>①武道競技にこだわらず、道場を体操や催事などに有効活用する。</p> <p>②7施設全体を使ったイベントを開催する。</p>	なし
			日岡山公園グラウンド	<p>①ジュニアサッカースクールで他スクール交流フットサルイベントを計画するも当日の雨天で中止となった。</p> <p>②子供を対象に苦手克服教室としてかけっこ教室集客も当日の雨天で中止になった。</p> <p>③競技団体と協働でグラウンドゴルフなど大会を行った。</p>	<p>①ジュニアサッカースクールで他スクール交流試合などを行う。</p> <p>②子供を対象に苦手克服教室(走り方教室)を行う。</p> <p>③阪神タイガースアカデミー協働で野球教室事業を行う。※野球場休場期間</p>	<p>照明のLED化を進める必要がある(水銀灯の在庫が切れる)</p>

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	日岡山公園第1テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> ①競技団体と協働でソフトテニス大会の事業を行った。 ②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーイベントを行った。 ③定期的な人工芝整備や部分補修を行い、利用者満足度を高めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ①競技団体と協働で大会やイベント等の事業を行う。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③定期的な人工芝整備や備品を購入し、利用者満足度を高める。 	なし
			日岡山公園第2テニスコート	<ul style="list-style-type: none"> ①SNSを有効活用しテニススクールの訴求を強化し、体験会などを実施し新規入会者獲得を行った。 ②7施設全体を使った親子スポーツスタンプラリーイベントを行った。 ③近隣中学・高校の部活動利用促進を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ①テニススクールの訴求を強化し、紹介企画や体験会などを実施し新規入会者獲得を目指す。 ②7施設全体を使ったイベントを行う。 ③定期的なニガリ整備で冬場のコート凍結を緩和させる。 	近い将来、テニスコートの仕様変更が必要(砂入り人工芝コートへ変更)
			漕艇センター	<ul style="list-style-type: none"> ①KAKOGAWAスプリングカップ ②加古川市長杯全国市町村交流レガッタ選考会 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「加古川市民レガッタ」「加古川レガッタ」 ④カヌー教室 ⑤小学生親子カヌー体験会 ⑥安全講習 ⑦秋のリバースポーツアドベンチャー ⑧秋のウォーターパーク ⑨春季スカルレース 	<ul style="list-style-type: none"> ①KAKOGAWAスプリングカップ ②加古川市長杯全国市町村交流レガッタ選考会 ③加古川市レガッタ事業実行委員会主催「加古川市民レガッタ」「加古川レガッタ」 ④会長杯 ⑤カヌー教室 ⑥小学生親子カヌー体験会 ⑦安全講習 ⑧サマーカヌーチャレンジ ⑨秋のリバースポーツアドベンチャー ⑩秋のウォーターパーク ⑪春季レガッタ 	近年シーズン中に大雨が降ることが多く、大会前に雨が降ると加古川大堰の放流量が規定値を超過することがあり中止した大会もある。夏の大会は猛暑対策を講じながらの実施となり、スタッフや関係者の体調管理を行いながら準備から進めることが必要となる。
			ウェルネスパーク	<ul style="list-style-type: none"> ①3世代交流ができるイベントを計画し実施する。 ↳親子レクリエーションやモルック体験会など年間を通して3世代が交流できるイベント実施できております。 ②教室内容を再検討し、新しい内容で取り組む。 ↳背骨コンディショニングなど新しい教室を取り入れ、身体を調整する内容に力をいれました。 	<ul style="list-style-type: none"> ①施設内外や地域資源を利用したイベントの開催 ②3世代交流イベントの継続開催 	地域資源を利用したイベントや3世代交流イベントの集客が一番の課題と考えております。事前計画含め宣伝方法をしっかりと検討していきます。
			スポーツ交流館	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の充実、美化促進を図り、各老朽箇所や修繕への対応 ・SDGsに配慮した施設運営 (リサイクル資源の活用・来館者へ負担のない程度での 節水、節電、節ガス) ・改修工事に伴い、プール事業以外の子育て世代を対象とした 教室事業の開催(2025年4月、2025年3月を除く) ・運動のきっかけや継続に繋がる事業の開催 ・改修工事に伴い、プール事業以外のウェルネスプログラムの 展開(2025年4月、2025年3月を除く) ・障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会、スポーツ 分野やアスリートから学ぶ事業の実施や開催 ・教室体験会の実施、広報活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の充実、美化促進を図り、各老朽箇所や修繕への対応 ・SDGsに配慮した施設運営 (リサイクル資源の活用・来館者へ負担のない程度での 節水、節電、節ガス) ・子育て世代を対象とした教室事業の開催 ・運動のきっかけや継続に繋がる事業の開催 ・ウェルネスプログラムの展開 ・障がい者スポーツ体験会、ニュースポーツ体験会、スポーツ 分野やアスリートから学ぶ事業の実施や開催 ・教室体験会の実施、広報活動 	プールエリアの改修工事からの利用者数の回復

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
①	スポーツ施設の充実	スポーツ施設等による主催講座、教室	志方体育館	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施。	シェイプアップ教室 10回コースを年4回実施予定。	駐車場(駐車可能台数)不足。
			日岡市民プール	①施設、設備の状態チェックを事前に行い、安全安心な運営に努めた。 ②Yahoo!バナー広告を行い、集客アップに努めた。	①施設、設備の状態チェックを行い、安全安心な運営に努める。 ②SNSを効果的に使い、集客アップに努める。	なし
			志方東公園テニス	テニス教室2コースを実施。	テニス教室2コースを実施予定。	なし
		トレーニング室の利用促進	日岡山体育館	①定期的にマシンを整備し、常に故障がない状態にし満足度アップを図った。 ②初回講習枠を増やし、新たな顧客獲得に注力した。	①定期的にマシンを整備し満足度アップを図る。 ②フリーウエイトゾーンを見直し、新たな顧客獲得に注力する。	なし
		トレーニングジムの利用促進	総合体育館	代表企業で導入実績が豊富な油圧式トレーニングマシンを3月末に導入済み。 油圧式で、力を抜いても急激な動きがなく、利用者の安全に考慮した設計で、怪我や危険が少ないマシンを導入した。	高齢者用油圧式トレーニングマシン導入により、高齢者のフレイル予防トレーニングプログラムを導入し、通所介護状態にならない体作りの啓蒙を行う。	体育館所在地域の高齢化に伴い、高齢者の負担にならないトレーニングプログラム、なりたい理想を追求するプログラムの提供を行う。(自分で歩く、自由に散歩する等) フレイル予防、サルコペニア予防等の段階を踏まえたトレーニング方法の提供をする。
		プール及びジムの利用促進	ウェルネスパーク	①お客様が安心して利用できる施設運営を継続する。 ↳研修を通してスタッフから利用者へ積極的に声かけをする意識を持つことで、些細なことに気を配ることができ安心して利用できる施設運営ができたと感じております。 ②SNSの更新内容を検討し、プール及びジム利用者の増加を図る。 ↳Instagram投稿に力をいれ登録者数も伸びてきており、しっかりと情報発信ができていますと感じております。	①子どもの施設利用促進の強化 ②利用者へ対する積極的な声かけの継続	子どものプール利用が増えてくると更衣室の床清掃問題が課題として考えられます。プール利用が増えてくる時期など更衣室巡回を増やすなどして対応策を考えております。
		スポーツ交流館	・開館時間の延長の継続 ・改修工事に伴う利用料金の見直し ・「ラウンドフィットネス®」の設置を継続 ※改修工事期間を除く ・フリーペーパーやSNSの活用(施設広報の作成等)	・開館時間の延長の継続 ・改修工事からの回復及び利用促進を目的とした定期券の割引価格での提供(令和8年5月末まで) ・「ラウンドフィットネス®」の設置を継続 ・フリーペーパーやSNSの活用(施設広報の作成等)	①幅広い年齢層の方が参加できるイベントの提供 幅広い年齢層の方が参加していただける教室(健康運動教室等)、イベントの実施ができたと考えております。 ②インクルーシブスポーツの提供 すべての方が親しむ運動の場作りの提供(ユニバーサルスポーツ体験等)と安心してご利用いただける施設運営ができたと考えております。	
競技場の個人利用促進	運動公園陸上競技場	ホームページ、印刷物での告知は改善に及んだが、専用利用・個人利用共に実績を伸ばす事ができた。体育館とのマシンの一部入れ替えを行い、トレーニングジムの強化を図った。	SNSの活用により、双方向情報交換を目標に、利用者ニーズを的確に把握し、タイムリーな情報発信を行う。利用者の成績の伸びや、練習方法の公開などを促進し、効果的な利用方法の共有を行う。	個人利用の利用者が大半なので、SNS活用にあたり、個人情報の取り扱い、利用者発信のマナー、トーンの管理に留意する。		

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
②	学校体育施設等の開放	学校体育施設等の開放	教育総務課 学校施設課	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用した。市全体の取組に合わせて、使用申請・許可をオンラインシステム化する準備を行った。	引き続き、全学校園の体育館などの施設を開放し、地域のスポーツ活動の場として活用する。	学校体育施設のフローリングや壁面等が老朽化しているため、計画的な改修や修繕を進めていく。熱中症対策として、体育館の空調設備の設置について、検討する。 社会体育施策の動向を踏まえつつ、更なる公平効率的な使用を実現できる仕組みを検討する。
③	スポーツ施設に関する情報提供・利用手続きの簡素化	スポーツ施設等予約システム	スポーツ・文化課	公共施設等予約システムに移行。一部施設について、オンライン決済を導入した。	公共施設等予約システムに移行。	なし。
(2) 観戦スポーツの推進						
①	スポーツ大会の情報提供	Wリーグ加古川大会	スポーツ・文化課	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バスケットボールの国内最高峰であるWリーグに所属する姫路イーグレッツと大学生・社会人との試合を開催した。 日時: 令和7年9月13日、14日 場所: 総合体育館 ※令和7年度より、総合体育館の指定管理事業として実施。	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バスケットボールの国内最高峰であるWリーグ公式戦を開催する。 日時・場所: 未定	なし。
		大同生命SVリーグ加古川大会	スポーツ・文化課	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰である大同生命SVリーグ公式戦を開催した。 日時: 令和7年12月6日、7日 場所: 総合体育館 ※令和7年度より、総合体育館の指定管理事業として実施。	一流選手による魅力あるスポーツイベントを開催し、市民のスポーツへの参加機会の拡大を図るため、女子バレーボールの国内最高峰である大同生命SVリーグ公式戦を開催する。 日時: 令和8年12月 場所: 総合体育館 ※令和7年度より、総合体育館の指定管理事業として実施。	なし。
②	大規模競技大会の誘致	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前合宿誘致	スポーツ・文化課			
③	身近な観戦スポーツの推進	スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	市内のスポーツイベントの情報提供を行うHPを継続して公開。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討と、継続的な更新が必要である。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(3) スポーツボランティアや指導者の発掘と養成						
①	スポーツボランティアの養成・確保	指導者研修会の情報提供	スポーツ・文化課	県スポーツ協会が主催するスポーツ指導者研修会や県スポーツ推進委員会が主催するニューリーダー研修会等について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行った。	県(スポーツ協会・スポーツ推進委員会)が主催するスポーツ指導者対象の研修会等について、スポーツ協会、スポーツ推進委員、スポーツクラブ等へ参加の呼びかけを行う。	なし。
		加古川マラソン大会	スポーツ・文化課	マラソンコース周辺の各種工事により中止となった加古川マラソン大会の代替イベント「加古川リレーマラソン」を支えるボランティアの育成を目的として、ボランティアの方々に、AEDを用いた心肺蘇生法講習を実施した。	マラソンコース周辺の各種工事によりフルマラソンでの大会開催ができなくなるため、12月にSHO WAグループ陸上競技場で代替イベント「加古川リレーマラソン」を開催予定。	大会再開時のボランティア離れが危惧されるため、大会休止期間中もボランティア団体等とのつながりを維持しておく必要がある。
		加古川カップ綱引大会審判講習会	スポーツ・文化課	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者が担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等)その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施し、大会参加者(チーム)に対しても綱の引き方指導を行った。	加古川市スポーツ協会主催の「加古川カップ綱引大会」に従事する審判員については、正式な資格を持たない者が担っている。(スポーツ協会各種目協会から選出された者、スポーツ推進委員等)その者たちに対し、公認審判員の経験者(スポーツ推進委員)が審判の講習を2回実施予定。また、大会参加者(チーム)に対しても綱の引き方指導を行う予定。	当日の審判について、加古川市スポーツ推進委員に頼りすぎている傾向がある。加古川市スポーツ協会内で、さらなる審判員の養成を検討する必要がある。審判員の負担が多いことから、新たに審判員として従事して下さる方が少ない。審判業務の負担軽減などを館和える必要がある。
②	スポーツ指導者の養成・確保	<再掲> 加古川市スポーツサポーター養成講座	スポーツ・文化課	かこパラスポーツ王国及び加古川市ポッチャ交流大会にて延10名がイベントサポート業務を行った。	事業実施の際には、スポーツサポーターへの協力等の依頼を行う予定。	加古川市スポーツサポーターの活動を促進するとともに、スポーツサポーターの活動内容と活用方法等を検討する必要がある。
(4) スポーツについての情報発信						
①	多角的なスポーツ情報の提供	広報かこがわ情報	企画広報課	実施が決定した事業について、周知することができた。	実施が決定した事業について、引き続き周知に努める。	紙面スペースに限りがある中で、参加申込につながるようなわかりやすい記事にする必要がある。
		<再掲> スポーツタウン加古川.jpのHP	スポーツ・文化課	市内のスポーツイベントの情報提供を行うHPを継続して公開。	HPを活用し、市内のスポーツイベントの情報提供を行う。	HPの効果的な活用の検討と、継続的な更新が必要である。
②	スポーツの情報発信方法の工夫	市スポーツイベント情報	スポーツ・文化課	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」、「イベントガイド」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧できるため、大会スケジュールや教室等の情報掲載を各施設へ促進する。	加古川市ホームページの「子育て・教育・文化・スポーツ」のページや「イベントカレンダー」、「イベントガイド」に最新の市スポーツイベントの状況を掲載する。また、「加古川市の施設」のページから、スポーツ施設のホームページが閲覧できるため、大会スケジュールや教室等の情報掲載を各施設へ促進する。	こまめに更新し、常に最新の情報が掲載されている状態を維持していきたい。
		スポーツ推進委員だよりのHP掲載	スポーツ・文化課	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ(第64号・第65号)」を発行予定。(年2回)。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPへの掲載、またイベント参加市民への配布により情報提供に努めた。	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ(第66号・第67号)」を発行予定。(年2回)。関係者及び一部の公共施設への配付だけではなく、市HPへの掲載、またイベント参加市民への配布により情報提供に努める。	スポーツ推進委員だよりの「HAPPYスポーツ」を活用した効果的なイベント及びスポーツ推進委員の周知の検討が必要である。
		播磨圏域連携中枢都市圏連携事業(8市8町)	スポーツ・文化課	ひめじスポーツコミッションのホームページにて、本市で行うプロバレーボールSVリーグのヴィクトリーナ姫路ホームゲームの開催を案内し、播磨圏域8市8町の住民へ情報を発信した。	引き続き、ひめじスポーツコミッションのホームページを活用して、広く圏域の住民に情報発信を行う。	新たな情報発信媒体の検討など、さらなる情報発信手段について検討する必要がある。

3 スポーツ環境の充実

No.	具体的施策	主な関連事業名	所管課名	令和7年度の取り組み結果	令和8年度実施予定	課題・検討事項等
(5) 総合型地域スポーツクラブの充実						
①	NPO法人加古川総合スポーツクラブの質的な充実	スポーツクラブ活動の推進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	<p>ビジョン・ミッションを行動指針としてクラブ運営をアップデートしながら、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している36種目をホームページや募集チラシで広報する。また法人主催のスポーツ教室やエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催や開設スポーツ活動を通して市民への認知度の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発を図る。さらに日本スポーツ協会登録クラブとして全国の登録クラブとの情報の共有を図り、魅力あるクラブ運営に努めた。</p>	<p>ビジョン・ミッションを行動指針としてクラブ運営をアップデートしながら、12エリアクラブ、31活動クラブにおいて活動している42種目をホームページや募集チラシで広報する。また法人主催のスポーツ教室やエリアクラブ主催の交流活動・種目部会主催の交流大会及びオープン大会等の開催や開設スポーツ活動を通して市民への認知度の向上に努めるとともに障がい者スポーツの普及・啓発を図る。さらに日本スポーツ協会登録クラブとして全国の登録クラブとの情報の共有を図るとともに部活動地域展開タイプの認証クラブの認定を目指し、「かこ☆くら」の推進支援にも努める。</p>	<p>①人材発掘・育成、エリアクラブ運営改善 ②活動施設確保・充実 ③法人運営改善・財源確保 ④クラブの魅力づくり(総合型地域スポーツクラブ認証制度への取組) ⑤地域貢献・交流 ⑥スポーツ指導者育成(パラスポーツ含)及び中学校部活動地域展開への協力</p>
		スポーツクラブマネージャー研修会	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	<p>運営委員会(毎月開催)→エリアマネージャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。指導者研修会の開催(中学校部活動地域展開への支援)及び公認スポーツ指導者資格取得の推進並びに事務局機能の改善を進めた。</p>	<p>運営委員会(毎月開催)→エリアマネージャーが出席し、行事関係の連絡調整及びクラブ運営諸問題について意見交換を行う。指導者研修会の開催(中学校部活動地域展開への支援)及び公認スポーツ指導者資格取得の推進並びに運営委員会及び事務局機能の改善を図る。</p>	<p>①指導者養成講座の開設 ②エリアクラブ運営役員及び開設種目代表者の新陳代謝促進</p>
②	地域の課題解決に向けた取組の推進	クラブハウスの利用促進	NPO法人加古川総合スポーツクラブ	<p>スポーツクラブの会議や活動時の休憩場所及び活動場所(文化活動、ボードダーディング、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体の利用した。</p>	<p>スポーツクラブの会議や活動時の休憩場所及び活動場所(文化活動、ボードダーディング、ギター)として利用するとともに、学校(チャレンジクラブ)や地域の団体及び「かこ☆くら」の利用を促進する。</p>	①老朽化に伴う修理補修
③	運動部活動への協力体制の拡充	準備委員会等の開催	スポーツ・文化課 学校教育課	<p>加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数-33名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和7年度配置校 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘みらい、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目:野球、バスケットボール、剣道、ハンドボール、バレーボール、バドミントン、陸上競技、サッカー、ソフトテニス、柔道、卓球、演劇、生花、国際交流、吹奏楽、文化</p> <p>部活動地域展開に向けて、令和7年3月に策定した市方針について、チラシやリーフレットの作成、各種説明会の開催等を通じて市民への周知に努めた。新たな活動の愛称を市内小中学生から募集し、「かこ☆くら」と決定した。かこ☆くら活動ガイドラインを策定し、地域クラブの募集、面談、登録事務を進めるとともに、先行実施に向けて会場の調整等を行った。試行プラン(体験会)の種目を拡大し、地域展開に向けた検証を進めるとともに、新たなかこ☆くらの活動を知ってもらう機会の創出に努めた。</p>	<p>加古川市中学校義務教育学校部活動外部技術指導者数-42名 外部技術指導者は、派遣校での部活動指導とあわせて、全市的な部活動顧問の指導力向上に向けた指導・助言も行う。 令和8年度配置予定 配置校-12校(加古川、中部、浜の宮、両荘みらい、平岡、氷丘、神吉、山手、志方、平岡南、別府、陵南) 配置種目及び人数-未定</p> <p>8月からの先行実施に向け、教育委員会に部活動地域展開推進室を新設し、一体的に取組を進める。対象の児童生徒に対して4月に地域クラブ一覧を配付・配信するとともに、地域クラブの情報を検索できる特設サイトの構築を進める。先行実施種目の体験会を開催し、4~7月の活動場所の確保に努める。仮登録の地域クラブのスタッフを対象とした研修の実施に向け、オンラインでの研修環境の構築に努める。相談窓口を設置し、児童生徒や保護者、地域クラブの立ち上げ希望者等の問い合わせに対応する。令和9年度の完全実施に向け、地域クラブの募集、面談、登録事務を進める。</p>	<p>地域展開については、今後は令和9年度の完全実施に向け、種目を問わず地域クラブの募集を進めていくこととなるが、種目の偏りや競技志向の高低、地域偏在等が起こる可能性がある。また、活動環境の整備については、令和9年度に始まる屋外種目の実施に合わせて必要な夜間照明の設置をさらに進める必要があるが、必要な照度の検討や予算の確保、近隣住民との調整が必要となる。</p>